

学術会議における学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープランの議論 Initiative of Science Council of Japan on master planning of large scale scientific re- searches and facilities

中島 映至^{1*}

NAKAJIMA, Teruyuki^{1*}

¹ 東京大学大気海洋研究所

¹ Atmosphere and Ocean Research Institute, University of Tokyo

日本学術会議では、2010年以來、学術の大型研究、大型施設に関するマスタープラン作りを行ってきた。これは百億スケールの研究プログラムが立ち上がりにくい状況に危機感を持った研究者によるボトムアップの活動である。しかし、これに呼応して文部科学省の科学技術・学術審議会の作業部会でも、大型研究についてのロードマップが作られ、学術会議のマスタープランについてもヒアリングが行われるなど、予算措置にも及ぶ状況が生まれている。しかし、一方で、マスタープランに選ばれる件数が分野別均等の考え方で作られており、社会対応の大型研究を多く抱える地球惑星科学分野にとっては逆に足かせにもなりつつある。これらの点について、本論文では検討する。

キーワード: 日本学術会議, 大型研究, 大型施設, マスタープラン

Keywords: Science Council of Japan, Large scale research, Large scale facility, Master plan